

『都市研究』（近畿都市学会学術雑誌）執筆要項・投稿規定

I. 原稿一般 執筆要項（2021年7月改定）

1. 原稿の作成

原則として、ワードプロセッサでA4版用紙に47字×43行でプリントしたもの（これがほぼ刷り上がり1頁分である）。

2. 論文等の種別

(1) 論文等は以下の3種類とする。

- 1) フォーラム論文（編集委員会の企画する特集のための中編の依頼論文）
- 2) 査読論文（若手を含めた自由投稿にもとづき査読を経る長編論文）
- 3) まちづくり紹介レポート（大会のエクスカージョンおよび講演をベースとしたまちづくり自治体の紹介や、まちづくり研究機関の紹介からなる短編レポート）
- 4) 大会の一般研究報告要旨

(2) 論文等の構成は以下のようにする（頁数は図表、注文、文献をすべて含むもの）。

- 1) フォーラム論文の構成（刷り上がり約4～8頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、本文、注、文献。
- 2) 査読論文の構成（刷り上がり約6～20頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、和文要約、和文キーワード（5文字以内）、英文アブストラクト（200語以内）、英文キーワード（和文キーワードに対応）、本文、注、文献。
- 3) まちづくり紹介レポート（刷り上がり約1～2頁）→ 論文題目、著者名、著者の所属、本文、注、文献。
- 4) 大会の一般研究報告要旨（1,200字以内）→ 報告題目、報告者氏名と所属、本文、注、文献。

(3) 上記とは別に、論文代表者の連絡先の住所、氏名、電話、e-mailアドレス（所有者）を書いた別紙を必ず添付する。

3. 本文

本文の章立て番号は、章「I、II、III…」、節「1.、2.、3.、…」、項「(1)、(2)、(3)、…」などとする。算用数字は1字のみをのぞき原則として半角とする。年次は原則として西暦で表す。「NPO」などの略語アルファベットは原則として全角とする。

4. 注（注説明は文末、脚注は不可）

注は当該箇所の右肩に上ツキ文字で1)などのように通し番号を付し、説明は本文の次、

文献リストの直前にまとめてつける。

5. 文献の表記法（文献リストは文末、脚注は不可）

本文中では、「…都市太郎・街二郎（2001）によれば…」などと引用する。本文末では、「…といわれている（都市太郎・街二郎、2001）。」などと引用する。そして、注の後、原稿の最後に、日本語文献（アイウエオ順）、欧文文献（アルファベット順）の順で文献リストをつける。

- (1) 雑誌論文（和） 著者名（年号）「論文名」「雑誌名」巻号、発行学会名。
 - (2) 単行本の一部（和） 著者名（年号）「論文名」（編者名『書籍名』）出版社名。
 - (3) 単行本（和） 著者名ないし編者名（年号）『書籍名』出版社名。
 - (4) 雑誌論文（欧） 著者名（年号）‘論文名’，“雑誌名”，Vol., No.. 発行学会名.
 - (5) 単行本の一部（欧） 著者名（年号）‘論文名’（編者名 ed. “書籍名”）出版社名.
 - (6) 単行本（欧） 著者名ないし編者名 eds. （年号），“書籍名”，出版社名.
- （※）英文で、第一著者は「姓，名（頭文字）」、第二著者以降は「名（頭文字），姓」

6. 注意

ワード等を使う場合、文書の自動設定はできるだけ解除して、テキストのみを地で書いてください。1) 章番号・段落等の自動設定を解除してください。2) 注の自動設定、脚注設定等も解除し、注・参考文献は、本文最後にまとめてつけください。

II. 査読論文投稿規定（2021年7月制定）

1. 内容

- (1) 広く、都市・まちづくりに関する学術研究論文とする。
- (2) 未発表のものとし、他の学術誌への二重投稿を禁ずる。
- (3) 近畿都市学会大会または日本都市学会大会で発表した内容にかかわるものとする。

2. 応募資格

本会会員とする。

3. 原稿執筆と送付

- (1) 執筆者は、『『都市研究』論文執筆要項』の査読論文に基づいて執筆すること。
- (2) 執筆者は以下の書類（データ）を下記編集委員会宛に提出すること。
 - 1) 原稿のワードファイルと PDF ファイル。著者名と所属は空欄にしてください
 - 2) 日本都市学会大会で発表した内容の場合は、そのことを証明する資料（大会名、年月日、題目と氏名が明記されたプログラムなど）。

3) 論文代表者の連絡先の住所、氏名、生年月、電話、e-mail アドレス（所有者）を書いた別紙。

※生年月は日本都市学会論文賞の審査対象者（著者が掲載時 39 才以下）確認のみに活用します。該当しない方は不要です。

4. 査読論文の採否

査読論文は、編集委員会の複数の読者による閲読をうけ、編集委員会で可否を決定する。